

拝啓 今年も早や2月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。冬の一番寒い時期ですが、大分暖かい日が多くなりました。私の住む港北ニュータウンの中に小さな梅林があり、先日毎月一緒に散歩をする友人と訪れましたが、紅梅が満開できれいでした。

今回も、「小西芳之助先生金曜会語録」からの引用です。今回の引用の中にも、「各国のもてる宗教は旧教であるべき」「忍耐をもって仕事につくせ」「相撲のけいこと信仰」などの見出しをつけた文章がありますが、これらは小西先生が55年も前に同志会の学生に語った言葉です。

石館守三先生のオープンリールのテープのCDへの変換頒布事業が、いよいよ第6期の最終回を迎え、只今注文を取っています。出来上がれば、約110枚のCDにより、石館先生の証言が復元されます。石館先生は、ヨハネ伝、ヘブル書、ヨハネ黙示録等小西先生とは別の箇所を多く講義しておられます。

2月17日、早稲田教会牧師古賀博先生のお父様の葬儀が、山口県下関市であり、妻が出席しました。妻の実家は、岡山県鴨方町（倉敷市の少し先）にあり、今は空き家になっています。妻と一緒に私も鴨方の家に帰り、3日間庭のかたづけをしたり、夜食事を作るのを手伝いました。私はこれまで、食事の手伝いは全くしておりませんで、食卓に料理がならべられた頃、2階から下りて来て食卓に着くような暮らし方をしておりました。しかし今回少し手伝った時、妻も抗がん剤治療のために手が荒れていて、食事作りも後片付けも大変なことがよく分かりました。今までも、いつでも手伝うと、口では言っていましたが、実際にはそばにいないわけですから、何の役にも立っていませんでした。今回、多めに反省をし、口先だけにならないよう、実行しようと決心をしました。そのためには、食事を準備する時間には、台所にいようと決心をしました。古賀先生のお父さんのお葬式のおかげで、私はたいへん貴重な勉強をさせていただきました。

帰りの新幹線の中で、三谷隆正先生の『幸福論』のさわりの部分を読みました。その最後の結論的部分に「幸福の秘訣として、ほぼ3つの軸を考えることが出来る。1は自分、2は家庭、3は社会。」とありました。私は南原研究会、高円寺東集会、童謡の会など、外の事ばかり一生懸命やって、家庭をおろそかにしていた事が大きな間違いであった事に、今頃気付かされました。その意味で、今回の岡山旅行は、実によい反省となりました。

もう少しで春がやって参ります。まだ寒い日が混じりますが、皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成27年2月23日

山口周三

エンカウターの読者各位